

We are delighted to send you our newsletters.

森口クリニック 健康新聞

地域の皆様に 森口クリニック からのお便りをお届けします。

第1号は、こんな内容でお送りします！

- ❑ まずは御挨拶：自己紹介ー私が医師を志したきっかけ
- ❑ 健康を気遣う言葉達…外国のことわざ…
- ❑ お役立ち！ ワンポイント豆知識（花粉症） / 編集後記

vol. 1



今号の特集

私が医師を志したきっかけ

新年明けましておめでとうございます。

おかげさまでクリニック開院後3回目の新年を迎えることができました。

本年も地域の皆様のお役に立てる身近なクリニックでありますよう、スタッフ一同努力していきますので、宜しくお願いします。

さて、診察中にはなかなか自分のこととお話させていただく時間が取れませんので、簡単な自己紹介も兼ねて私が医師を志すきっかけとなった出来事等を振り返ってみたいと思います。

森口クリニック 代表 森口孝一

生年月日 2月20日 うお座

血液型 O型（A型が混じっているとスタッフに言われます…）

身長：181cm 体重：82kg

趣味：読書・旅行

好きな食べ物：タコ（明石タコ） 好きな飲み物：黒豆茶

性格：前向き 信条：最後まで諦めない、威張らない

特技：そろばん 好きな国：ドイツ

幼い頃の記憶・・・軽トラックに轢かれる - - - 初めての医療機関との出会い

私は会社員の父と母の家庭に大阪市天王寺区で生まれ、間もなく大阪ー豊中市へ引越し母方の祖父母家族と暮らしていました。よく食べよく寝て、朝から晩まで外で遊ぶ落ち着きのない子供だったようです。3歳の時に家の前の道路で軽トラックに轢かれ救急車で病院へ運ばれました。その時の光景はいまだに記憶に鮮明で、これが記憶にある中で出産以後初めての医療機関との出会いになります。ちなみに搬送先の病院では担当医の先生・看護師さんにとっても親切にしてくら

った印象が今でも残っています。森口クリニックのある段上町近辺は開院当時と比べて交通量が増えていますので、子供たちが決して事故に遭うことなくすくすくと成長してくれるよう、通勤の度に切に願っています。

タイでの生活・・・バンコクの医療機関

4歳から2年間、父の仕事の関係でタイのバンコク市内で暮らしました。一年中蒸し暑く、度々洪水があったり、タイ軍兵士がウロウロしていたことを覚えています。メリーポピンズ幼稚園という幼稚園（バンコク在住の外国人の子供達用の幼稚園）へ通っていました。ここでも持ち前の落ち着きのなさは治らず、一日中色々な国の子供たちと遊んでいたそうです（一体何語で会話していたのやら??…）。ある日マンションの風呂場で転倒、頭部打撲⇒近くの診療所へ…。これが記憶にある中で2番目の医療機関との出会いになります。

帰国・・・よく熱を出していた子供の頃 - - - 日本のクリニックのお世話に

小学1年生の冬に帰国し大阪の枚方市で暮らすこととなりました。常夏の国から真冬の日本へ帰国したタイミングが悪かったのか、小学生の間はよく熱を出して頭痛でうなされていました。家の近くのクリニックにたびたびお世話になっていたのですが、よく熱を出すわりには回復も早かったようで学校を休んだことはありませんでした。当時は子供なりに「この頭痛を治せる人は天才やな」、「自分もそんな人になれたらいいな」と思い始めていたようです。

中学一高校へ・・・身長が伸びるが学力は伸びず - - - 十二指腸潰瘍で通院

小学校から中学校へは何も考えずに家の近くの市立中学校に進学しました。熱が出なくなるとともに小学校卒業時に150cmだった身長は、中学生の間に20cm、高校生の中に10cm伸びて現在に至ります。中学卒業後は大阪府立の高校へ進学、高校生になってから何故か毎日眠たく学校では居眠りばかりでよく怒られていました。高2の夏のこと、夜寝ているとお腹がキリキリと重痛く、毎晩その度に水を飲んで我慢、やがて我慢できなくなりまたまた近所のクリニックのお世話に。診断は十二指腸潰瘍、胃腸が丈夫な今の自分からは考えられませんがこれまたたいそう弱りました。やがて高校卒業を迎え同級生がそれぞれの進路へ進んで行く中、自分の希望に学力が付いて来ずあえなく大学受験は失敗、めでたく？予備校生となり1年後再度大学受験⇒またまた失敗。さすがにガクンと凹みましたが気持ちの切り替えは素早かったように覚えています。

予備校2年目でギラン・バレー症候群発症・・・入院

という訳で予備校生活が2年目に突入することと相成りました。いわゆる2浪生です。またまた枚方から京阪電車と地下鉄を乗り継いで大阪市内まで。ある日の朝ベッドから降りようとする足に力が入らず転倒。予備校をお休みし病院受診、その場で即入院、診断名はギラン・バレー症候群。女優の大原麗子さんがかかったことで知られている病気で10万人に1~2人の頻度の珍しい病気です。治療にも関わらず50~60kgあった握力は入院後1週間で0となり、まもなく歩くことさえできなくなり車椅子の生活へ。普段何気なくできること（字を書いたり、ご飯を食べたり、歯を磨いたり、お風呂に入ったり等）が不自由となり朝から晩まで困りました。気分的にも落ち込みかけましたが主治医の先生の温厚なキャラクターに救われ、50日の入院後に退院⇒またまた予備校生活再開、しかし握力はまだ5kg程しかなく足の自由もきかないので電車での通学は大変で、駅の階段でよく転んで杖を持った御高齢の方に助けてもらっていました。入院はもう懲り懲りですが、この困った体験が医師を志した最終のダメ押しー現在の自分の医療人としての基盤になっているように思います。入院中は患者さんを献身的に助けている看護師さん達の仕事ぶりを見ていてとても感心したものです。

実は、先日森口クリニックでもギラン・バレー症候群の患者さんを診断する機会がありました。「部活の翌日から突然足に力が入りにくくなった」とのことで来院され入院、とても心配しましたが、退院後は次第によくなってきていますので自分のことのようにとても嬉しく、元気ももらっています。現在その患者さんはまだ中学生にもかかわらず、辛いであろう闘病生活・入院生活を明るく乗り越えてくれましたので、きっと身体の弱っている人の気持ちを思いやれる優しい人に育ってくれることでしょう。応援しています！！

3度目の大学受験・・・徳島へ

小学校から高校まで普通に地元の公立校に通っていた私にはどうやら「お勉強」が向いていなかったようで、春が来る度に「サクラ咲かず」撃沈↓↓。家庭の事情で私立大学への進学は無理でしたので止む無く大学受験を繰り返すこととなりました。予備校2年目に入院した時にはさすがに「こりゃ今年もアカンな」と覚悟しましたが、「何としてでも医師になって自分と同じように困っている人の力になるぞ！今年もダメでも諦めないぞ！」という決意で諦めなかったからでしょうか？、それとも開き直っていたのでしょうか？、予備校生活は無事に2年でピリオドを迎え、20歳から徳島で学生生活を送ることとなりました。徳島で過ごした日々は密度が濃く、自分にとっては留学先のドイツ・ミュンヘン市と同じく第二の故郷です。

以上、振り返ってみると怪我・病気が多く身体はあまり強い方ではなかったようです。幸い現在はとても元気に地域の患者さんとお付き合いさせていただいていますが、怪我・病気でクリニックを閉めて（休診して）患者さんに御迷惑を掛けることのないようにしたいものです。山あり谷ありの徳島での生活～それ以降研修医となつてからの生活のお話は次号に続きます。

「100人の医者を呼ぶよりも、夜更かしと夜食をやめよ」
(スペイン)

「ビールは液体のパンである」 (ドイツ)

健康関連番組で、「体にいい食品」が紹介されるたびに赤ワイン、納豆、酒粕などが売り切れる時期がありました。健康への関心・食事への興味は万国共通のようです。究極の健康法は全く基本的なことですが、十分な睡眠と適度な運動、そしてバランスがよく偏りのない食生活につきます。加えて病気の早期発見・早期治療の習慣があれば無駄な時間・医療費を節約できます。皆それぞれ生活スタイル・リズムが違いますので情報に惑わされず、張り切りすぎず、自分の性格に合う「まず出来ること」から始めてみませんか？

健康を気遣う言葉たち
…外国のことわざ…



健康に関することで疑問などありましたらお気軽にご質問やご相談下さい。

些細なことから病気を早期発見できることがありますし、病気の悪化の兆しを感じ取ることが出来ますので、お互いに遠慮なく話し合える関係を築ければきっと地域の方のお役に立てるクリニックになれると思います。

お役立ち！ ワンポイント豆知識

健康メモ……………「花粉症」

花粉症でお悩みの辛い経験はありませんか？

昨年の夏はこの100年で1番の猛暑になりましたので

この春の花粉飛散量は近畿地方では昨年度の7～10倍になると予想されます。

花粉症の治療のコツは喘息発作と同様です。

つまり、喘息患者さんが天気の下り坂（雨の日の前日・気温差の大きな日・台風が近付いて来た時等）に早めに治療を開始すると楽に過ごせるのと同様に、花粉症の症状を少しでも感じたら直ちに：

（理想的には花粉の大量飛散が始まる前から：1月中～）

治療を開始すると楽に過ごすことが可能です。

（お薬による治療）

1. 内服薬
2. 点鼻薬
3. 点眼薬

森口クリニックで診察・投薬可能です
詳しくはお電話・診察室でお問い合わせ下さい

症状・重症度・患者さんの希望に応じて治療薬を選択します。

編集後記

段上小学校北隣の地で平成20年春に開業して早4年目を迎えます。開業前は期待と不安が入り混じった気持ちでしたが、この3年間で多くの地域の方々とお付き合いさせていただき本当に良かったと感じています、初心を忘れることなく歩んで行きたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。 森口 孝一



【発行・編集】

森口クリニック

TEL 0798-57-3792

ホームページ <http://moriguchi-clinic.jp>